

総 目 次

I. 総説	5. 一般廃棄物の処理主体及び処理計画 …9・10
1. 富良野市のあらまし……………1	(1) 生活系ごみ
(1) 富良野市の紹介	(2) 事業系一般廃棄物
	(3) 処理計画
2. 清掃事業の沿革……………1～3	
3. クリーンふらの計画……………3	III. 廃棄物の処理及びリサイクル事業実績
(1) 基本方針	1. 普及啓発活動実績……………11
(2) 計画策定と目標年次	(1) ごみ減量化、啓発活動の実績
(3) 廃棄物の区分・分類及び処理方針	(2) 廃棄物減量等推進審議会の開催
(4) 計画収集区域の範囲	2. ごみ処理関係実績（平成28年度）……12
(5) ごみ減量化計画	(1) ごみの総搬入量
	(2) ごみの総処理量
II. 富良野市一般廃棄物処理実施計画	(3) 資源化・焼却・埋立処理率の推移
1. 一般廃棄物処理の基本的事項 ……5・6	(4) 粗大ゴミ処理実績
(1) 計画の目的	(5) 有機肥料・固形燃料の生産出荷販売実績
(2) 処理区域	(6) ごみステーション・空きびんポスト設置数
(3) 計画期間	(7) 年度別実績の推移
(4) 処理区域の人口及び世帯数	(8) 分別区分と収集処理の推移
(5) 処理計画量	(9) 搬入・処理実績（グラフ）
(6) ごみ処理の基本体系	(10) 処理実績（処理フロー）
2. 普及啓発事業……………7	IV. リサイクル事業の組織等
(1) リサイクル運動・ごみ減量化の意識高揚 のための方策	1. 機構・事務分掌……………19
(2) 教育啓発活動の方策	2. 施設の現況 ……19・20
(3) 過剰包装の利用や再生品の利用促進	《別表1》
	3. 廃棄物処理関係歳入歳出実績(H27)…22
3. ごみの排出区分及び収集方法……………8	V. 一般廃棄物の広域分担処理フロー
4. 収集運搬計画……………9	
(1) 収集・運搬体制	
(2) 収集運搬の許可	

I. 総 説

1. 富良野市のあらまし

(1) 富良野市の紹介

本市は、北海道上川総合振興局管内の南部に位置し（北緯 43° 東経 142° 東西 32.8km 南北 27.3km）行政区域総面積 600.71km の北海道のほぼ中央に位置している富良野盆地の中心都市です。

東方に十勝岳をはじめとする大雪山系の山並み、西方に芦別岳をはじめとする夕張山地の山並みがそびえ、南方には良好に保たれた天然林の大樹海があります。

市域の西方は、この二つの山並みに囲まれて南北に伸びたほぼ長円形の盆地が形成され、その中央部を石狩川水系の空知川が南から西北に貫流し、網の目のように巡る大小の河川は大地を潤し、郷土の大部分を覆う緑豊かな自然環境と地理的条件に恵まれたなかで、農業を基幹産業とし、観光が調和された都市として発展してきました。

本市は明治 36 年に下富良野村として開村され、大正 8 年に町制を施行し富良野町に改称、昭和 31 年、富良野町と東山村が合併し「新富良野町」が誕生、昭和 41 年 5 月には富良野町と山部町が合併して、北海道 29 番目の市として市制を施行しています。

近年は FIS ワールドカップスキー大会の開催地（通算して 10 回開催）・ラベンダーとヘその街・脚本家 倉本 聰氏の脚本による TV ドラマ「北の国から」「優しい時間」「風のカーデン」のロケ地などで知られ、年間 200 万人近い観光客が本市を訪れます。

平成 29 年 3 月 31 日現在の人口は 22,249 人、世帯数は 10,869 世帯となっています。

2. 清掃事業の沿革

昭和初期	・馬車で街の中心部だけ収集
昭和 34 年	・ごみ収集を有料化し、チケット制で軒先収集を開始
昭和 39 年	・オルゴールで知らせる「持ち寄り方式」に変更
昭和 45 年	・ごみ収集を無料化
昭和 47 年 8 月	・八幡丘埋立処分場開始（全量埋立処理）
昭和 52 年	・ステーション方式で収集開始
昭和 54 年	・市農林部局で農業残渣、生ごみによる堆肥化の調査・研究開始
昭和 56 年	・八幡丘埋立処分場拡張の地域折衝で、農業被害（カラス・キツネなどの鳥獣による種・苗・作物・肥料袋・子牛への被害、年間見舞金百数十万円）による閉鎖要請があり、閉鎖を確約
昭和 57 年	・閉鎖問題対応のためごみ処理専任係配置し、八幡丘埋立処分場閉鎖時期を昭和 63 年 3 月までとする。
昭和 58 年	・ごみの 3 種分別（生ごみ・その他のごみ・乾電池）を試行 ☆ 有機物供給センターの建設着工 ☆ 生ごみの定義：①カラスのエサになるもの ②腐って堆肥になるもの
昭和 60 年 4 月	・ごみの 3 種分別収集の本格施行 ☆ 有機物供給センター稼働、コンポストの生産開始 ☆ 資源化率 27.1%
昭和 62 年	・ごみの 6 種分別モデル地区を設置 ☆ 農業廃棄物処理施設（固形燃料工場）建設着工
昭和 63 年 7 月	・ごみの 6 種分別の本格施行 （生ごみ・固形燃料ごみ・一般ごみ・空きかん・空きびん・乾電池） ☆ 農業廃棄物処理施設稼働、固形燃料の生産を開始 ☆ 御料埋立処分場開始 ☆ 資源化率 48.3%

平成 元年		<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理施設（焼却施設2炉）を建設、12月から稼働
平成 2年		<ul style="list-style-type: none"> ・固形燃料ごみの収集を週2回行う。
平成 3年	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期間（5月～11月）農家地区のごみ収集を開始 ☆ 一般廃棄物処理計画（クリーンふらの計画）策定 ☆ 有機物供給センター増設
平成 4年	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・山部に産業廃棄物処理施設を建設
平成 5年	3月 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理条例全面改正 ・一般廃棄物処理計画（クリーンふらの計画）改訂 ・ごみの7種分別施行 ☆ 「家庭ごみ」「事業所ごみ」に区分 ☆ ごみの一部有料化（粗大ごみ・多量ごみ・事業系焼却ごみ） ☆ 廃棄物減量等推進審議会設置 ☆ リサイクル推進委員設置 ☆ 資源化率 56%
平成 6年	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・農家地区のごみ収集を通年行う。（一般ごみ・固形燃料ごみ 月2回） ☆ 富丘埋立処分場使用開始
平成 9年	1月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」が公表 ・一般廃棄物処理基本計画（クリーンふらの計画）改訂 （ごみ処理基本計画～リサイクル・タウン計画） （生活排水処理基本計画～クリーン・タウン計画）
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・空きびんの共同処理開始（容り法）（占冠4月、南富11月）
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道が「ごみ処理の広域化計画」を策定
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野生活圈一般廃棄物広域分担処理検討協議会の設置 （1市3町1村で構成）
平成10年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・空きびんの共同処理に中富良野町が参加
平成11年	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野生活圈一般廃棄物（ごみ）広域分担処理基本計画策定
平成12年	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改訂
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・7種分別から、脱焼却を基本として10種分別に変更 ・ペットボトル分別収集開始（共同処理（容り法）～中富、南富、占冠） ・14種分別のモデル地区の設置
平成13年	1月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック類分別収集開始（広域共同処理） ・一般廃棄物処理基本計画（生活排水処理基本計画）改訂 ☆ 資源化率 62.1%
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・「燃やさない・埋めない」を基本理念とした「14種分別」施行
平成14年	3月 8月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・固形燃料化施設設備更新 ・生ごみ指定袋を生分解性プラスチック袋に変更 ・一般廃棄物処理施設（焼却施設2炉）を廃止 ・衛生用品の広域共同処理開始（上富良野クリーンセンター） ☆ 資源化率 90.3%
平成15年	3月 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・空きびん、プラスチック、ペットボトルを中富良野町資源回収センターで広域共同処理開始 ・環境衛生センターに生ごみ搬入開始 ☆ 資源化率 93.0%
平成16年	3月 4月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・動物死体を南富良野町小動物焼却施設で広域共同処理開始 ・農村地区生ごみ収集開始（11月中旬～翌年4月中旬までの冬期間収集）
平成17年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系一般廃棄物収集を5地区収集から3地区収集に月統合
平成18年	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改訂
平成19年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック類の分別区分の変更
平成20年	3月 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分け方・出し方ガイドブック作成・全戸配布 ・農村地区生ごみを冬期間限定収集から通年収集に変更

平成20年 9月	・レジ袋削減（レジ袋の有料化）に関する協定の締結 （市・消費者協会・市内3店舗）
平成22年 2月	・リサイクルマーケット開催開始
5月	・ごみの分け方・出し方ガイドブック改訂
平成24年 8月	・ミニ生ごみ袋販売開始
平成25年 3月	・第二次富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理基本計画策定 ・富良野市生活排水処理基本計画改訂
平成26年 4月	・衛生用品の固形燃料化実証実験を通年実施
平成27年 3月	・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改訂
10月	・ごみの分け方・出し方ガイドブック改訂・全戸配布 ・ごみステーションを「資源回収ステーション」に名称を変更 ・スプレー缶の排出方法を変更（穴を開けずに使い切って排出） ・コンビニエンスストアで粗大ごみ処理券取り扱い開始
平成28年 4月	・病院から排出される非感染性使用済み紙おむつ受け入れ開始
8月	・資源回収ステーション看板更新（3か年計画）
10月	・ごみ分別辞典の検索サイト提供開始
11月	・粗大ごみ収集申し込みを電子申請で受付開始
平成29年 4月	・ペットボトルの分別区分の変更（ラベルをはがして排出）

3. クリーンふらの計画

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第6条第1項の規定に基づき、本市における一般廃棄物処理基本計画「クリーン・ふらの計画」は、ごみ処理基本計画「リサイクル・タウン計画」と生活排水処理基本計画「クリーン・タウン計画」で構築されております。

- （1）一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改定（平成27年 3月）
- （2）生活排水処理基本計画 改定（平成25年 3月）
- （3）第二次富良野生活圏一般廃棄物（ごみ）広域分担処理基本計画 策定（平成25年 3月）

資源リサイクルシステムと廃棄物の適正処理体制の確立により、限りある資源の有効活用と身近な生活環境の保全及び公衆衛生の向上と合わせて廃棄物の排出量の削減を図ることを基本にしています。

（1）基本方針

- ① 自然環境・生活環境の保全に主眼を置いた環境負荷の少ない、より資源の循環利用を基本とした廃棄物処理を行います。
- ② 新たな廃棄物の区分は、リサイクルの可能性や有害性・危険性などを考慮し選択します。
- ③ 排出者の役割分担や責任分担を明確にし、排出抑制・減量化に努めます。
- ④ 再生品の市内活用などリサイクルについて、市民に見える形で推進します。

（2）計画策定と目標年次

計画目標年次 → 平成34年（西暦2022年）

（3）廃棄物の区分・分類及び処理方針

廃棄物区分は、現行の14種分別とし、市単独の固形燃料施設の運営管理・沿線1市3町1村による広域処理等適正な循環型処理を実施します。（処理方針別項参照）

（4）計画収集区域の範囲

計画収集区域は、富良野市の行政区域全域を3地区に分割し収集します。

(5) ごみ減量化計画

- ① 住民団体等による資源の集団回収活動等に対する支援を行います。
- ② 消費者、販売店舗等の理解と協力体制を整え、レジ袋、トレー等包装資材を減らす運動を展開します。
- ③ 適正な分別がごみ減量化の最大の方策と位置づけ、あらゆる機会を通じて周知致します。

Ⅱ. 富良野市一般廃棄物処理実施計画

1. 一般廃棄物処理の基本的事項

(1) 計画の目的

本計画は、富良野市における廃棄物の排出抑制及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

(2) 処理区域

本計画の処理区域は、富良野市全域とする。

(3) 計画期間

本計画の期間は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までとする。

(4) 処理区域の人口及び世帯数

処理区域人口 22,249 人
処理区域世帯数 10,869 世帯

(5) 処理計画量

(単位：t/年)

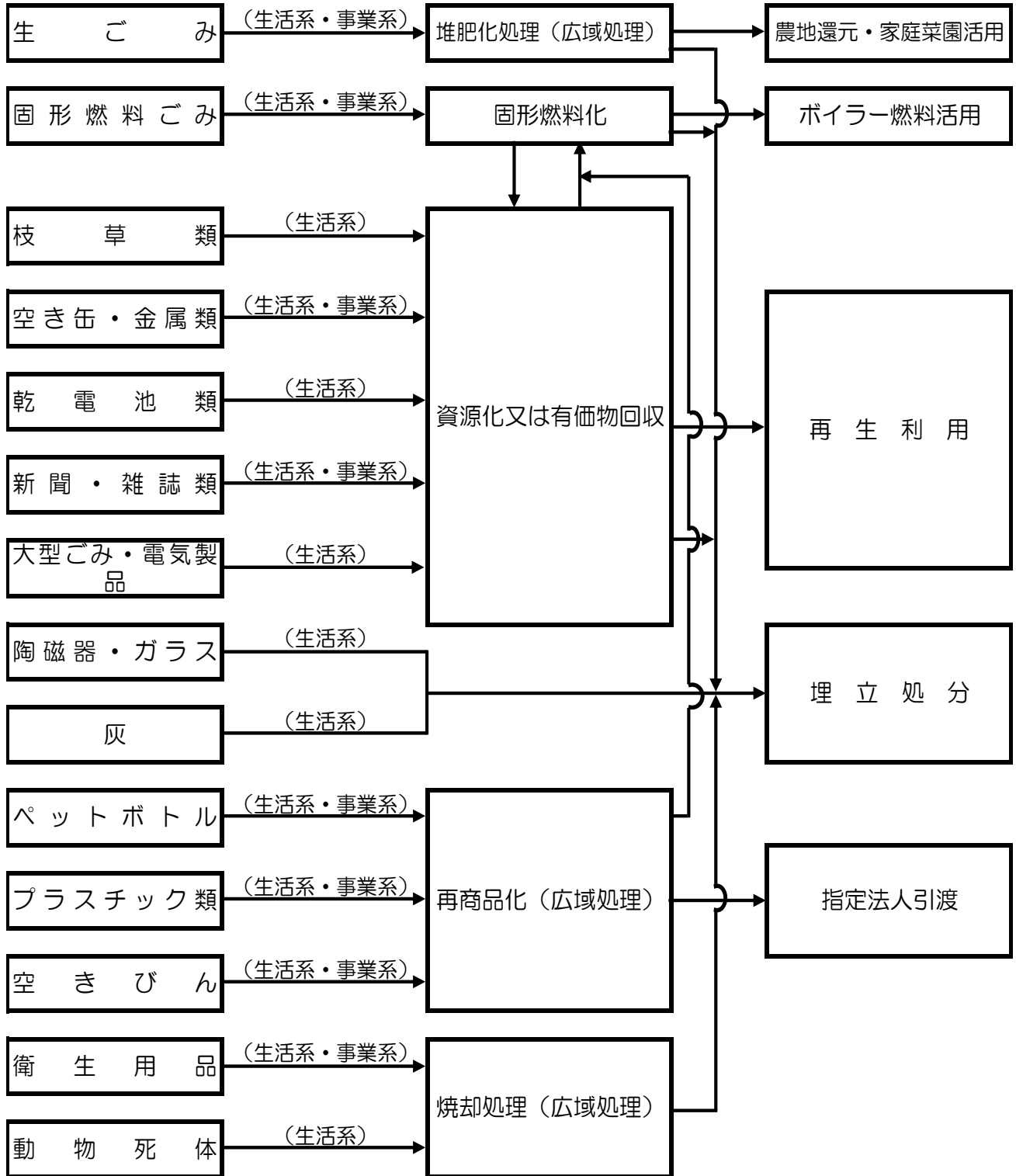
ごみの分別区分	平成 29 年度処理計画量			備考
	生活系	事業系	計	
① 生ごみ	1,286	969	2,255	広域分担処理
② 枝草類	399	71	470	
③ 固形燃料ごみ	1,533	1,004	2,537	
④ ペットボトル	85	40	125	広域分担処理
⑤ プラスチック類	152	0	152	広域分担処理
⑥ 空き缶・金属類	159	0	159	
⑦ 空きびん・陶磁器・ガラス	324	71	395	広域分担処理（空きびん）
⑧ 乾電池類	11	1	12	
⑨ 新聞雑誌・ダンボール	366	5	371	
⑩ 大型ごみ・電気製品	67	0	67	
⑪ 衛生用品	406	234	640	広域分担処理
⑫ 灰	12	10	22	
⑬ 動物死体	2	0	2	広域分担処理
⑭ 処理困難物	2	0	2	
合計	4,804	2,405	7,209	

※広域分担処理：富良野生活圏一般廃棄物（ごみ）広域分担処理基本計画に基づく共同処理

(6) ごみ処理の基本体系

本市のごみ処理は、次の体系を基本として行うこととする。

〈ごみ処理基本体系図〉



2. 普及啓発事業

循環型社会の形成の主旨を理解してもらうために、あらゆる機会を通じてごみリサイクル啓発活動を行い、市民の認識を高めていくとともに、市民参加による普及啓発事業を推進します。

(1) リサイクル活動・ごみ減量化の意識高揚のための方策

- ① ごみ分別に対する住民説明会の開催
- ② まちづくり出前講座「ごみのゆくえ」の開催
- ③ ごみの不適正排出者に対するごみ分別指導
- ④ 市広報紙（Q&A等）、ホームページによるごみ情報の提供
- ⑤ 地域（町内会）との連携強化による不法投棄及び不適正排出防止
- ⑥ リサイクルセンター学習施設の活用及び施設見学の受入
- ⑦ 資源回収ステーション設置に対する補助
- ⑧ // 看板の整備
- ⑨ ごみ収集カレンダーの配布（年3回）
- ⑩ ミニ生ごみ袋の導入
- ⑪ 組織の活用（市廃棄物減量等推進審議会、町内会・区会・市民団体・事業者・関係業界等への周知・協力依頼）
- ⑫ 春秋の環境美化運動による散乱ごみの防止
- ⑬ ペット糞放置禁止の啓蒙
- ⑭ リサイクルフェアの開催（年1回）
- ⑮ リサイクルマーケットの開催（隔週木曜日）
- ⑯ フリーマーケットの開催
- ⑰ ごみ分別アプリの導入

(2) 教育啓発活動の方策

教育委員会との連携により、小中学生にリサイクルについての学習の場を設ける。

- ① 小学校社会科副読本による環境学習の推進
- ② リサイクルセンター学習施設の開放、体験学習の推進
- ③ 社会見学の受入

(3) 過剰包装の抑制や再生品の利用促進

過剰包装品を買わない、過剰包装をしない取り組みを積極的に進めるとともに、物を大切にする生活の促進を支援していきます。また、市民・事業者による再生品の需要拡大を図るため、市民団体や事業所、販売店と協力して再生品の利用拡大を進めます。

- ① 簡易包装推進運動の展開
- ② マイバック持参、レジ袋削減の取組みの推進
- ③ 再生品利用運動の展開
- ④ リサイクル推進協力店増加事業の推進

3. ごみの排出区分及び収集方法

ごみの排出区分及び処理方法等は、次のとおりとする。

区 分		排 出 方 法		収 集 頻 度			
				生 活 系		事 業 系	
				市 街	農 村		
①生ごみ		指定袋（薄緑）		週2回		直接搬入か又は許可業者に委託	
②枝草類	枝	紐結束		月2回	自己処理		
	草	透明袋					
③固形燃料ごみ		指定袋（黄）		週1回		直接搬入か又は許可業者に委託	
④ペットボトル		指定袋（橙）		月2回			
⑤プラスチック類		指定袋（紫）		週1回			
⑥空き缶・金属類	空き缶	指定袋（青）		月2回			
	スプレー缶・金属類	透明袋					
⑦空きびん・陶磁器・ガラス	びん	透明	空きびんポスト		随時投入		直接搬入か又は許可業者に委託
		茶色					
その他							
	陶磁器・ガラス	専用回収コンテナ					
⑧乾電池類	乾電池	回収コンテナ		随時投入			
	電球・蛍光管	回収店		随 時			
⑨新聞・雑誌類	新聞	紐結束		月2回	直接搬入か又は許可業者に委託		
	雑誌	紐結束					
	ダンボール	紐結束					
	紙パック	紐結束					
⑩大型ごみ・電気製品	大型ごみ	有料個別収集		月1回			
	電気製品	有料個別収集					
⑪衛生用品ペット糞等		指定袋（黄）		週1回		直接搬入か又は許可業者に委託	
⑫灰		透明袋		月2回			
⑬動物死体		随時自己搬入					
⑭処理困難物		基本的に販売店で引取り					

- ※ 生活系ごみの排出日は、資源回収カレンダーに定められた日とし、指定された資源回収ステーションに排出するものとする。
- ※ ごみの排出時間は、市街地区は午前9時まで、農村地区は午前8時までとする。
- ※ 粗大ごみ・電気製品等のごみ処理手数料は、条例の定めによる。

4. 収集・運搬計画

(1) 収集・運搬体制

ごみ処理基本計画に示す「ごみ処理の基本体系」及び「ごみの排出区分および収集方法」に基づき、行政区域内の収集、運搬体制を確保するとともにより効率的な収集・運搬体制の構築を図る。

(2) 収集運搬の許可

①許可業者数

一般廃棄物収集・運搬の許可業者数は、一般廃棄物処理基本計画に基づき、適切な体制が確保されているため、廃棄物の分別区分や量が大幅に増加するなど適正な体制確保のため特に必要な場合を除き、現在の範囲内とする。ただし、事業系一般廃棄物のうち、すきとり物等を収集・運搬する場合は、必要に応じて対応する。

②許可車両の変更等

許可車両の変更は、許可業者の事業規模、業務実績及び事業計画等を勘案し、ごみ処理基本計画の方針及び関係法令に沿った適正な収集・運搬が見込まれる場合に限るものとする。

5. 一般廃棄物の処理主体及び処理計画

(1) 生活系ごみ

区 分	収集及び 運搬主体	中間処理		最終処分	
		処理主体	処理方法	処理主体	処理方法
生ごみ	市（委託）	富良野広域連合	堆肥化	占冠村	埋立
固形燃料ごみ	〃	市（委託）	固形燃料化	—	—
枝草類	〃	市（委託）	選別・資源化	—	—
陶磁器ガラス	〃	市（委託）	保管	市（直営）	埋立
乾電池類	〃	市（委託）	選別・保管	—	—
空き缶・金属類	〃	市（委託）	選別・圧縮	—	—
新聞雑誌ダンボール	〃	市（委託）	選別	—	—
大型ごみ・電気製品	〃	市（委託）	分解・選別	—	—
灰（施設残渣含む）	〃	市（委託）	保管	市（直営）	埋立
ペットボトル	〃	中富良野町	再商品化	—	—
プラスチック類	〃	中富良野町	再商品化	—	—
空きびん	〃	中富良野町	再商品化	—	—
衛生用品	〃	上富良野町	焼却	上富良野町	埋立
動物死体	〃	南富良野町	焼却	南富良野町	埋立

(2) 事業系一般廃棄物

区 分	収集及び 運搬主体	中間処理		最終処分	
		処理主体	処理方法	処理主体	処理方法
事業系一般廃棄物	許可業者	市（委託）	生活系ごみの 分別区分による	市（直営）	埋立
直接ごみ	排出者	〃	生活系ごみの 分別区分による	〃	〃

○事業活動に伴って排出されるごみは、排出者自らの責任において適正に処理することを原則とする。
自ら処理できない場合には、排出事業者自ら処理施設へ搬入するか、または、許可業者に収集に依頼する。

(3) 処理計画

区 分	生ごみ	固形燃料ごみ 一部、衛生用品	資源ごみ他	焼却他 衛生用品、動物死体	埋立処分 灰・陶磁器ガラス
搬入量	2,255	2,651	1,666	528	109
計	資源化再生利用 6,572 トン (搬入量の 91.2 %)			焼却・埋立ごみ 637 トン (搬入量の 8.8 %)	
	処理量 7,209 トン				

Ⅲ. 廃棄物の処理及びリサイクル事業実績（平成 28 年度）

1. 普及啓発活動実績

（1）ごみ減量化、啓発活動の実施

- ・毎月発行の市広報紙に「ごみQ&A」掲載
- ・リサイクル掲示板の月1回発行（広報お知らせ版折込）
- ・警告シール貼付けによる分別不適ごみの再分別指導（貼付枚数計 3,507 枚）
- ・分別不適ごみ排出者への分別指導（計 17 回）
- ・ごみ収集カレンダーの配布（年3回）
- ・ごみステーション、飛散防止ネット設置補助（9 基）
- ・リサイクルセンター施設見学の受入（視察 28 団体 417 名、施設見学 467 名）
- ・リサイクルフェア（8 月 28 日開催、来場者数 800 名）
- ・ふらの環境展 2016 開催（9 月 15 日～9 月 17 日、来場者数 288 名）
- ・リサイクルマーケット開催（来場者数 739 名、販売枚数 4,614 枚）
- ・春秋の環境美化運動の実施（参加団体 141 団体、参加人数 4,636 名）
- ・ふらのフリーマーケット開催（2 月 18 日開催、来場者数 500 名）

（2）廃棄物減量等推進審議会の開催

○審議会（出席者 5 名）

日 時 平成 28 年 11 月 1 日（火）

場 所 富良野市役所 第3会議室

【報告事項】

- ・廃棄物処理及び指導実績について
- ・衛生用品の施設整備計画について
- ・資源回収ステーション看板の改修について
- ・粗大ごみ処理券のコンビニ販売実績について廃棄物処理及び指導実績について

【議 事】

- ・富良野市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）について

2. ごみ処理関係実績

(1) ごみの総搬入量

区 分	生ごみ・枝 草	固形燃料ごみ 一部衛生用品	資源ごみ	粗大ごみ 乾電池類	衛生用品 動物死体	灰 陶磁器・ガラス等
搬入量	2,724.0	2,651.3	1,115.8	78.3	528.4	111.6
計	資源化再生利用 6,569.4 トン (搬入量の 91.1%)				焼却・埋立ごみ 640.0 トン (搬入量の 8.9%)	
	搬入量 7,209.4 トン					

(2) ごみの総処理量

区 分	生ごみ他	固形燃料	再生利用	焼却処理他	埋立処分
搬入量	2,176.2	2,654.3	1,625.8	528.4	224.7
計	資源化再生利用 6,456.3 トン (搬入量の 90.6%)			焼却・埋立ごみ 753.1 トン (搬入量の 9.4%)	
	処理量 7,209.4 トン				

(3) 資源化・焼却・埋立処理率の推移

(%)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
有機肥料化率	35.0	34.7	33.3	32.7	32.5	33.0	32.4	31.7	32.4	30.2
固形燃料化率	33.6	33.2	32.7	33.3	33.7	33.3	34.3	36.4	35.6	36.8
有価物回収率	21.9	21.3	23.3	23.1	22.8	23.5	22.9	22.9	22.6	22.6
資源化率計	90.5	89.2	89.3	89.1	89.0	89.8	89.6	91.0	90.6	89.6
焼却処理率	6.5	6.9	7.0	6.9	7.3	7.4	7.4	5.9	6.1	7.3
埋立処理率	3.0	3.9	3.7	4.0	3.7	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1

(4) 粗大ごみ処理実績

(個)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小型電気袋	1,375	1,253	1,425	1,650	1,604	1,601	1,516	1,455	1,527	1,300
小 型	6,804	6,000	6,139	7,811	7,239	6,784	6,293	5,964	6,287	5,952
中 型	569	469	511	490	330	503	554	567	470	630
大 型	244	208	207	209	173	213	244	220	207	259
合 計	8,992	7,930	8,282	10,160	9,346	9,101	8,607	8,206	8,491	8,141

(5) 有機肥料・固形燃料の生産、出荷量、販売金額実績

①有機肥料（コンポスト）

区 分	単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
生産量	トン	684	665	628	655	521	393	419	383	341	253
出荷量	トン	617	478	500	564	792	818	877	535	358	252
販売金額	千円	1,770	1,505	1,514	1,700	1,070	1,152	2,837	1,946	1,335	963

※富良野地区環境衛生センターより

※生産量は富良野市から発生した生ごみの量から案分

※出荷量と販売金額は、富良野地区環境衛生センターで出荷した総数（1 m³ 400kg で算出）

②固形燃料（RDF）

区 分	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H28
生産量	トン	2,125	2,603	2,384	2,317	2,411	2,380	2,477	2,450	2,251	2,058
出荷量	トン	2,104	2,480	2,324	2,275	2,099	2,471	2,236	2,346	2,499	2,283
販売金額	千円	4,419	5,236	5,151	4,493	3,529	2,353	2,359	2,349	1,716	6,161

※富良野市リサイクルセンターより

※平成 28 年度より売却単価改定

(6) ごみステーション等設置数（H29.4.1 現在）

ごみステーション設置数

市街地区域	590
農村区域	72
合 計	662

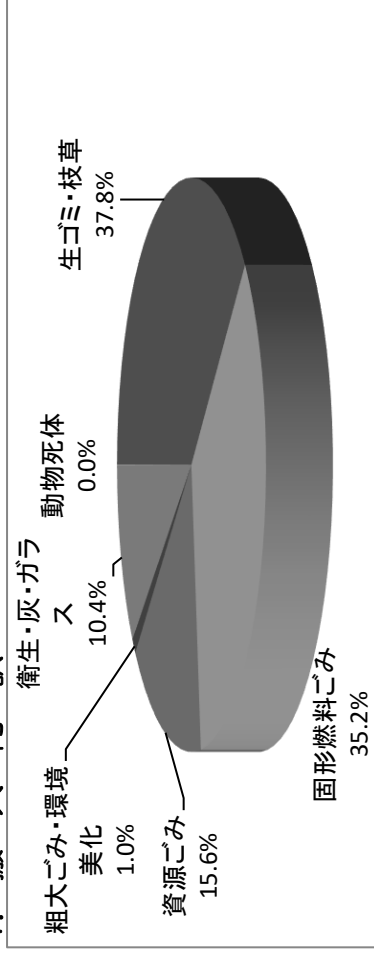
空きびんポスト設置数

合 計	233
-----	-----

表2-1-1 年度別排出量処理実績

区分	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計画処理区域	人口	25,625	25,231	25,117	24,847	24,560	24,330	24,143	23,977	23,681	23,515	23,283	22,956	22,661	22,249	
	世帯数	10,253	10,581	10,642	10,667	10,634	10,720	10,800	10,840	10,873	10,938	10,940	10,918	10,915	10,869	
	人口	25,625	25,231	25,117	24,847	24,560	24,330	24,143	23,977	23,681	23,515	23,283	22,956	22,661	22,249	
	世帯数	10,253	10,581	10,642	10,667	10,634	10,720	10,800	10,840	10,873	10,938	10,940	10,918	10,915	10,869	
自家処理区域	人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集量等	市収集	6,494.5	6,553.8	6,239.0	6,216.2	5,845.3	5,390.2	5,317.8	5,310.2	5,281.0	5,332.2	5,271.9	5,187.5	4,868.1	4,803.3	
	1人1日平均排出量	694.4	711.6	680.5	685.4	652.1	607.0	603.5	606.8	611.0	621.3	620.3	619.1	588.6	591.5	
	1戸1日平均排出量	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	
	直接搬入	2,294.5	2,296.6	2,356.2	2,308.9	2,304.8	2,118.6	2,187.1	2,217.7	2,100.0	2,102.0	2,245.2	2,192.5	2,379.0	2,406.1	
	合計(A)	8,789.0	8,850.4	8,595.2	8,525.1	8,150.1	7,508.7	7,504.9	7,527.9	7,381.0	7,434.2	7,517.1	7,380.1	7,247.1	7,209.4	
	① 生ゴミ	2,993.6	2,970.0	2,902.8	2,842.8	2,692.5	2,613.4	2,600.4	2,566.6	2,484.4	2,534.5	2,514.0	2,412.5	2,416.4	2,254.7	
	② 枝草類	447.5	532.7	387.8	431.8	430.7	450.1	465.4	493.0	476.2	471.4	439.1	439.2	470.0	469.3	
	③ 固形燃料	2,099.0	2,166.1	2,226.8	2,167.9	2,690.8	2,468.9	2,447.0	2,498.8	2,485.1	2,460.9	2,569.1	2,585.0	2,474.5	2,536.7	
	④ バットボトル	109.2	119.2	120.1	127.2	128.6	120.8	120.5	129.3	117.2	126.1	122.7	126.9	128.3	124.7	
	⑤ プラスチック類	824.6	823.9	823.5	745.9	209.6	184.2	178.5	177.1	168.3	164.3	161.5	155.9	154.3	151.9	
⑥ 空き缶・金属類	367.6	355.8	323.9	323.0	278.4	193.8	185.9	202.1	188.8	186.4	186.7	177.9	168.6	159.5		
⑦ 空き缶・陶磁器・ガラス	520.1	464.13	463.9	481.0	483.9	416.8	437.5	437.9	395.5	412.8	434.2	417.9	408.2	396.0		
⑧ 乾電池類	17.8	10.6	15.4	15.5	14.6	13.2	13.7	13.6	12.6	12.4	12.4	13.2	12.3	11.5		
⑨ 新聞・雑誌・段ボール	795.5	804.9	726.2	752.5	590.5	414.8	386.3	357.6	394.8	403.4	399.3	405.6	360.0	371.3		
⑩ 大型ごみ・小型電気製品	84.2	71.1	73.1	76.5	78.6	64.0	67.0	94.1	66.7	77.7	74.4	67.3	66.4	66.8		
⑪ 衛生用品	508.6	513.8	513.5	519.4	524.8	514.4	522.7	514.7	540.3	552.2	553.2	551.5	546.7	640.9		
⑫ 灰(平成6年以前は別項)	19.0	17.6	17.5	20.2	18.5	16.0	64.9	35.4	43.7	26.1	26.1	38.8	37.6	21.9		
⑬ 動物死体	2.3	0.6	0.7	0.4	1.2	0.8	2.9	1.7	1.7	1.6	1.8	1.7	1.5	2.0		
★ 一般ごみ	0.0	0.0	21.1	21.1	7.6	37.5	12.2	6.0	5.8	4.3	2.9	3.4	2.3	2.2		
医療系廃棄物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
農作物残渣	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
農産物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
農産物イラム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
合計	8,789.0	8,850.4	8,595.2	8,525.1	8,150.1	7,508.7	7,504.9	7,527.9	7,381.0	7,434.2	7,517.1	7,380.1	7,247.1	7,209.4		
有機物供給センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
富良野地区環境衛生組合	3,351.1	3,418.0	3,210.7	3,132.2	2,855.2	2,604.0	2,497.2	2,464.9	2,394.1	2,454.9	2,437.6	2,336.1	2,341.9	2,176.2		
農業廃棄物処理施設	2,171.0	2,224.0	2,285.9	2,231.7	2,735.7	2,491.8	2,465.1	2,504.4	2,486.8	2,946.5	3,017.3	3,123.5	3,041.7	3,126.1		
一般廃棄物処理施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
農産物焼却炉	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
空ひん・陶磁器・ガラス選別施設	525.0	466.2	463.8	483.4	397.9	334.4	359.7	353.8	309.3	329.2	341.6	324.2	305.5	295.1		
ペットボトル・プラスチック選別施設	914.3	922.9	918.6	854.2	325.3	296.7	291.7	302.4	276.9	281.4	273.8	273.1	273.7	267.8		
委託先選別(処理)施設	1,722.7	1,722.5	1,629.9	1,654.7	1,591.1	1,486.6	1,613.8	1,663.3	1,672.8	1,214.5	1,224.4	1,090.3	1,045.8	1,119.5		
最終処理処分場	104.9	96.7	86.3	168.9	244.9	295.2	277.4	239.2	241.1	207.8	222.5	233.0	238.5	224.7		
施設別処理処分量	8,789.0	8,850.4	8,595.2	8,525.1	8,150.1	7,508.7	7,504.9	7,527.9	7,381.0	7,434.2	7,517.1	7,380.1	7,247.1	7,209.4		
(うち施設間移行量)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
合計(B)	8,789.0	8,850.4	8,595.2	8,525.1	8,150.1	7,508.7	7,504.9	7,527.9	7,381.0	7,434.2	7,517.1	7,380.1	7,247.1	7,209.4		
有機肥料用原料	3,351.1	3,418.0	3,210.7	3,132.2	2,855.2	2,604.0	2,497.2	2,464.9	2,394.1	2,454.9	2,437.6	2,336.1	2,341.9	2,176.2		
減 固形燃料用原料	2,171.0	2,224.0	2,285.9	2,231.7	2,735.7	2,491.8	2,465.1	2,504.4	2,486.8	2,946.5	3,017.3	3,123.5	3,041.7	3,126.1		
溶 有価物再生利用	2,569.2	2,526.2	2,423.8	2,472.5	1,788.4	1,602.5	1,747.7	1,739.7	1,684.5	1,699.4	1,652.7	1,624.1	1,580.4	1,561.6		
・委託処理(乾電池・粗大)	84.2	71.1	73.1	94.2	93.1	77.2	80.7	63.4	32.6	43.0	71.3	68.2	66.4	64.2		
再資源化 計 (C)	8,175.5	8,239.4	7,993.5	7,930.6	7,472.4	6,775.5	6,782.6	6,772.4	6,598.1	6,672.4	6,739.8	6,712.7	6,565.2	6,456.3		
資源 資源化率(C/B)	93.0	93.1	93.0	93.0	91.7	90.2	90.4	89.1	89.0	89.8	89.8	91.0	90.6	89.6		
内 焼却処理 (D)	508.6	514.3	515.7	519.8	525.9	515.2	525.6	516.3	541.9	554.0	434.5	443.4	443.4	528.4		
焼却率(D/B)	5.8	5.8	6.0	6.1	6.5	6.9	7.0	6.9	7.3	7.4	7.4	5.9	6.1	7.3		
埋立ごみ(E)	104.9	96.7	86.0	168.9	244.9	295.2	277.4	302.6	273.7	207.8	222.5	233.0	238.5	224.7		
埋立処分率(E/B)	1.2	1.1	1.0	2.0	3.0	3.9	3.7	4.0	3.7	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1		
焼却灰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
埋立計(F)	104.9	96.7	86.3	168.9	244.9	295.2	277.4	302.6	273.7	207.8	222.5	233.0	238.5	224.7		

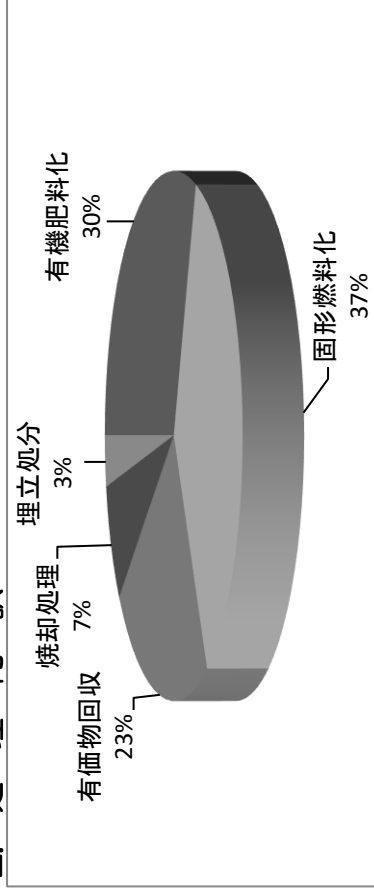
1. 搬入内訳



(単位:t)

区分	生ゴミ・枝草	固形燃料ごみ	資源ごみ	粗大ごみ・環境美化	衛生・灰・ガラス	動物死体
投入量	2,724.0	2,536.7	1,127.4	69.0	750.3	2.0
計	資源化対象ごみ 6,457.1 t (搬入量の 89.6 %)			7,209.4 トン		

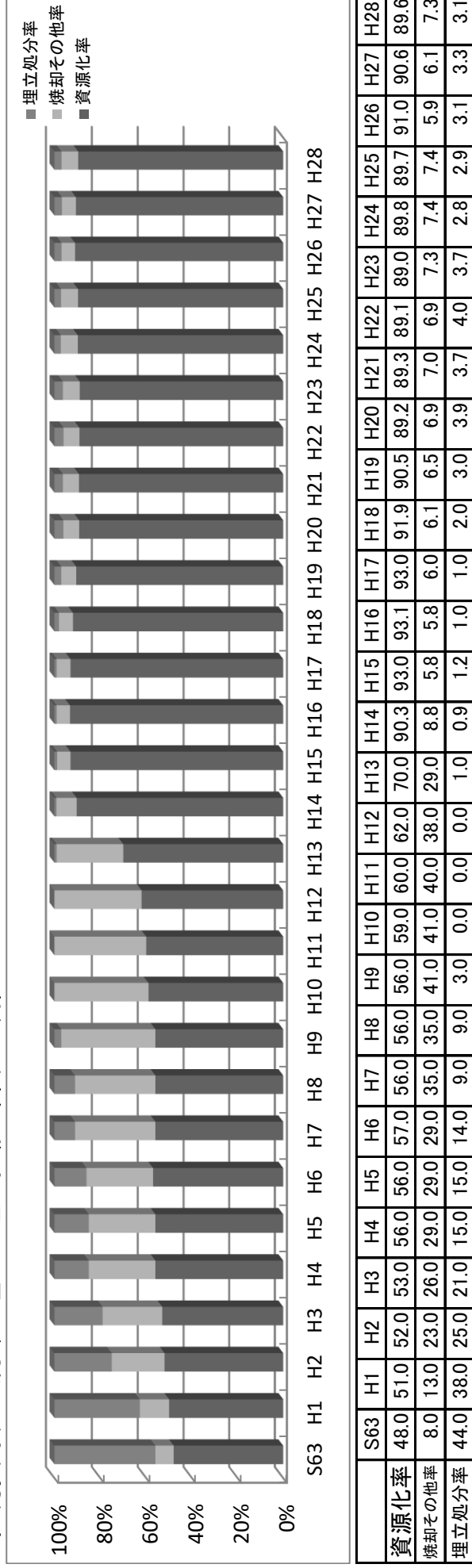
2. 処理内訳



(単位:t)

区分	有機肥料化	固形燃料化	有価物回収	焼却処理	埋立処分
処理量	2,176.2	2,654.3	1,625.8	528.4	224.7
計	資源化再生利用 6,456.3 t (処理量の 89.6 %)			7,209.4 トン	

3. 再資源化・焼却・埋立処理の推移 (単位: %)



一般廃棄物処理フローと平成28年度処理実績

平成29年4月作成

市民生活部環境課

搬入量	【受入施設・中間処理施設】	【施設間・受入】	【施設間・排出】	【資源化等処理】
① 生ごみ 2254.7 t	富良野広域連合環境衛生センター (処理能力 22.0t/日)	→	埋立 78.5 t (占冠へ)	→ A 堆肥化処理 2,176.2 t ※ 有機肥料 253.3 t
② 枝草類 469.3 t	リサイクルセンター	← 施設間移動量 1.7 t	→ 施設間移動量 4.4 t (固形4.4t)	→ A 再生利用 466.6 t
③ 固形燃料ごみ 2536.7 t	固形燃料化施設 (処理能力 15.12t/日)	← 施設間移動量 29.7 t	→ 施設間移動量 21.4 t (金属類0.7t、乾電池0.1t、ガラス類0.2t、枝・草1.7t、埋立14.6t、新聞・雑誌1.1t)	→ A 固形燃料化 2,539.8 t A 衣料・布類回収 5.2 t ※ 固形燃料 2,057.5 t
④ プラスチック類 151.9 t	富良野生活圏資源回収センター	← 施設間移動量 0.0 t	→ 施設間移動量 8.8 t プラ・ペットボトル残渣(固形)	→ A 再商品化 267.8 t (指定法人へ)
⑤ ペットボトル 124.7 t	再生処理業者	← 施設間移動量 3.7 t	→ 施設間移動量 8.7 t (固形4.9t、乾電池0.1t、電気製品0.1t、埋立3.6t)	→ A 再生利用 154.5 t
⑥ 空き缶・金属類 159.5 t	富良野生活圏資源回収センター	← 施設間移動量 13.6 t	→ 施設間移動量 13.4 t (ガラス残渣)	→ A 再商品化 295.1 t (指定法人へ) 埋立処分 101.1 t
⑦ 空きびん 87.5 t	リサイクルセンター	← 施設間移動量 0.2 t	→ 施設間移動量 0.0 t	→ C 再生利用 11.7 t
⑧ 乾電池・蛍光管 11.5 t	リサイクルセンター	← 施設間移動量 1.1 t	→ 施設間移動量 0.0 t	→ A 再生利用 372.4 t
⑨ 新聞雑誌・段ボール類 371.3 t	リサイクルセンター	← 施設間移動量 15.3 t	→ 施設間移動量 29.6 t (固形10.1t、電気製品15.0t、埋立4.5t)	→ A 木屑・基盤 52.5 t 配線回収
⑩ 大型ごみ・電気製品 66.8 t	リサイクルセンター	← 施設間移動量 23.2 t	→ 施設間移動量 29.6 t	→ C 埋立処分 123.6 t
⑪ 灰 21.9 t	富丘埋立最終処分場			
⑫ 衛生用品 640.9 t	固形燃料化施設			→ A 固形燃料化 114.5 t ※ 固形燃料 40.0 t
⑬ 動物死体 2.0 t	上富良野町クリーンセンター			→ B 焼却処理 526.4 t (上富良野町へ)
⑭ 環境美化・不法投棄ごみ 2.2 t	南富良野町小動物焼却施設			→ B 焼却処理 2.0 t (南富良野町へ)
	リサイクルセンター	← 施設間移動量 2.2 t (固形1.5t、電気製品0.2t、埋立0.5t)		

《搬入合計 7,209.4 t》	A 再生利用 6,456.3 t	89.6 % [(D-B-C)/D]	《処理合計D 7,209.4 t》
	B 焼却処理 528.4 t	7.3 % (B/D)	
	C 埋立処分 224.7 t	3.1 % (C/D)	

IV. リサイクル事業の組織等

1. 機構・事務分掌 《別表1》

2. 施設の現況（平成29年4月）

（1）不法投棄ごみ及び動物死体一時保管庫（車両センター）

（単位：千円）

施設名	所在地	建築構造	延床面積	竣工年月	建築価格
車両センター車庫	富良野市花園町	鉄筋コンクリート	300.0㎡	平成4年9月	26,832

（2）リサイクルセンター

①管理事務所（TEL 0167-42-2102 FAX 42-2341）

（単位：千円）

施設名	所在地	建築構造	延床面積	竣工年月	建築価格
施設管理事務所	字山部西20線21番地	木造モルタル2階	94.77㎡ 222,345㎡	昭和59年12月 昭和62年11月増設	11,875 29,764

②有機物供給センター（休止中）

（単位：千円）

事業名	処理能力	建物面積	発酵槽型式	竣工	事業費
新地域農業生産 総合対策事業	30ト/日	1,517㎡	箱型発酵槽・スクープ式 攪拌(4槽×3基)	昭和60年3月 平成3年11月増設	475,480

③保管施設

（単位：千円）

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
パーク用原料庫	鉄骨造り	200.0㎡	昭和60年度	9,570	
パーク用原料庫	鉄骨造り	157.0㎡	昭和63年度	7,280	

④固形燃料化施設（平成13年度 機械設備更新）

（単位：千円）

事業名	処理能力	建物面積	発酵槽型式	竣工	事業費
農村地域定住促進 対策事業	7.2ト/日 (固形燃料設備)	1,017㎡	固形燃料製造設備 一式 減容設備 一式 ポイラー 一式	昭和63年7月	288,980
廃棄物処理施設 整備事業 (ごみ燃料化施設)	15.12ト/日 (固形燃料設備更新)		機械設備 一式 電気計装設備一式 建築付帯設備一式	平成14年3月	273,000

⑤保管施設

（単位：千円）

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
固形燃料製品庫	鉄骨造り	194.4㎡	平成元年度	7,385	
固形燃料製品庫	鉄骨造り	194.4㎡	平成2年度	7,416	
固形燃料製品庫	鉄骨造り	194.4㎡	平成3年度	7,983	

⑥一般廃棄物処理施設（平成14年12月廃止）

（単位:千円）

処理能力	建物面積	燃焼設備	竣工	事業費
1,321t/時 ×2基	502㎡	炉型式、固定バッチ式、燃焼型式、自然対流方式 火格子面積 6.6㎡/炉	平成元年12月 平成14年12月廃止	99,794

⑦保管施設

（単位:千円）

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
焼却ごみ保管庫	鉄骨造り	144.0㎡	平成元年度	2,560	

⑧ストックヤード

（単位:千円）

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
剪定枝堆積所	ブロック構造	152.0㎡	平成元年度	2,846	

(3) 富丘埋立処分場

①最終処分場

（単位:千円）

埋立面積・容量	埋立方法	設備	竣工	事業費
4,500㎡ 20,600㎡	セル方式による 準好気性埋立	処理能力 20㎡/日 処理方式 接触ばっき+沈殿法 処理水質 BOD 20PPMSS70PPM	平成5年12月	247,338

②保管施設

（単位:千円）

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
資材倉庫	鉄骨造り	89.54㎡	平成元年度	3,997	所在 西富丘

(4) 車両の現況

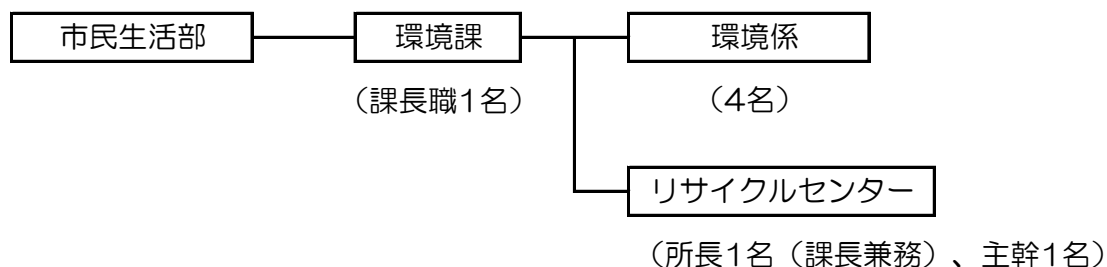
	車両センター	リサイクルセンター	環境課	計	備考
ごみ収集車				0	
大型重機		6		6	
連絡車				0	
分別指導車			1	1	
フロン回収車		1		1	
計		7	1	8	

大型重機内訳

（単位:千円）

車種	登録番号・車号・年式	型式	取得価格	備考
ダンプ車12㎡ (積載量3.10ト)	旭11つ3566 平成7年3月	いすずU-FRR32GI改	7,179	平成7年3月から使用
ショベルローダ 1㎡	旭00る5090 昭和63年9月	小松メック W009	5,250	昭和63年9月から使用
バックホー EX-120	平成2年6月	25712		平成2年6月から使用
フォークリフト トヨタ	平成21年6月	02-8FD20	2,625	平成21年6月から使用
ショベルローダ 1㎡	旭00る7514 平成9年7月	小松メック W065	6,184	平成9年7月から使用

◀別表1▶ ◎機 構 (平成29年4月1日)



◎事 務 分 掌 (平成29年4月1日)

- (1) 環境保全に関すること。
- (2) 環境基本計画及び保全行動計画の推進に関すること。
- (3) 公害防止対策に関すること。
- (4) 騒音、振動及び悪臭防止法に係る特定施設及び特定建設作業の届出に関すること。
- (5) 環境測定に関すること。
- (6) 廃棄物の処理、減量化、リサイクル及び清掃に関すること。
- (7) 一般廃棄物処理計画に関すること。
- (8) 廃棄物減量等推進審議会に関すること。
- (9) 一般廃棄物の分別及び指導に関すること。
- (10) ごみ処理手数料の徴収に関すること。
- (11) 一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業等の許可及び指導監督に関すること。
- (12) ごみステーションの設置補助に関すること。
- (13) 一般廃棄物の処理に係る市町村間協議及び調整に関すること。
- (14) 廃棄物の不適正処理及び不法投棄に関すること。
- (15) し尿等の収集計画に関すること。
- (16) リサイクルセンターの運営管理に関すること。
- (17) 農業廃棄物処理施設の維持管理に関すること。
- (18) 一般廃棄物富丘埋立処分場の運営管理に関すること。
- (19) ふらの生活圈広域分担処理検討協議会に関すること。
- (20) 廃棄物に係る研修及び視察等の受入に関すること。
- (21) その他廃棄物に関すること。

3. 廃棄物処理関係歳入歳出実績

〈平成27年度〉

(単位：円)

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
○手数料	3,447,300	○一般廃棄物の収集運搬に要した経費 (内不法投棄回収：177,676円)	97,955,422
・粗大ごみ処理手数料	3,387,300	○リサイクルセンターの運営管理に要した経費	76,855,192
・廃棄物収集運搬・処分業等許可申請手数料	60,000	○埋立処分場の維持管理に要した経費	5,426,943
○有価物売却代	4,769,619	○ごみ減量と再資源化啓発事業に要した経費	2,428,853
○固形燃料売却代	1,715,645	○ごみステーション設置補助に要した経費 (16基)	146,000
○その他雑入	7,499	○衛生用品資源化処理試験に要した経費	6,168,960
○富良野市一般財源	458,224,810	○一般廃棄物の広域処理に要した経費 (1市3町1村)	242,580,100
		・富良野広域連合一般会計予算市町村負担金の衛生セクター分 (生ごみ)	210,670,000
		・資源回収センター管理運営費負担金 (中富良野町 プラ・ペット・空きびん)	11,827,662
		・動物死体処理施設管理運営費負担金 (南富良野町 動物死体)	1,923,636
		・衛生用品処理負担金 (上富良野町 衛生用品・ペット用トイレの砂)	18,158,802
		○ごみ処理に要した人件費	36,343,187
		○その他業務・事務・維持管理に要した経費	260,216
合 計	468,164,873	合 計	468,164,873

V. 一般廃棄物の広域分担処理フロー（平成28年度実績）

※圏域5市町村

ごみの種類	実績数量	富良野市の単独処理	広域分担共同処理
① 生ごみ	2,176.2 t	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	富良野広域連合環境衛生センター (H14.11 富良野市) 不適物 ↓ 一般廃棄物最終処分場 (H14.11 占冠村)
② 枝草類	466.6 t	⇒ 選別・粉碎処理委託（再生利用）	
③ 固形燃料ごみ	2,545.0 t	⇒ 農業廃棄物処理施設（固形燃料化）	
④ プラスチック類	143.1 t	} ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	資源回収センター (H15.4 中富良野町)
⑤ ペットボトル	124.7 t		
⑥ 空きびん	295.1 t		
陶磁器・ガラス	101.1 t	⇒ 選別・粉碎処理委託（埋立最終処分）	
⑦ 空き缶・金属類	154.5 t	⇒ 選別処理委託（有価物回収）	
⑧ 新聞・雑誌類	372.4 t	⇒ 選別処理委託（有価物回収）	
⑨ 乾電池・蛍光灯	11.7 t	⇒ 処理委託（有価物回収）	クリーンセンター (H14.12 上富良野町)
⑩ 衛生用品	640.9 t	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 一部、固形燃料化実証実験	
⑪ 動物死体	2.0 t	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	小動物焼却施設 (H16.4 南富良野町)
⑫ 大型ごみ・電気製品他	52.5 t	⇒ 分解・選別委託（各施設で資源化）	
⑬ 灰類	123.6 t	⇒ 埋立最終処分	
合 計	7,209.4 t	富良野市単独処理量 3,941.9 t (54.7%)	広域共同処理量 3,267.5 t (45.3%)

富良野市では、「分ければ資源・混ぜればごみ」を合言葉に
市民の皆様とごみの分別リサイクルに取り組んでいます。

富良野市市民生活部環境課

〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号
TEL : 0167-39-2308 / FAX : 0167-23-1313